

はじめに

スマートフォンで写真を撮り、お手軽にキレイでかっこよく編集・加工してSNSに投稿する。生成AIでバリエーション豊かな画像やイラストを生成する。そんな時代に、カメラからPCに写真を取り込み、Photoshopで時間をかけて編集・加工して書き出して～なんて、手間がかかって面倒に思うかもしれません。

ですが、ちょっとした補正から商業用途のWeb、印刷の広告画像の補正や修正、デジタルアート作品の制作など、Photoshopで行える作業は幅広く、正確性が高く、奥深くて何より自由です。

本書では、はじめてPhotoshopに触れる人たちを対象に、わかりやすく使いやすい基本的な機能をピックアップし、それぞれの機能をかたんな手順で覚えられるように説明しています。本書で説明している内容だけでもかたんな補正や加工ができるようになりますが、それぞれ別の機能を組み合わせて使ったり、手順の一部を違う機能に置き換えてみたりすることで、書籍内で説明している以上にさまざまなことが行えるようになります。

こうした機能の組み合わせを多数紹介している書籍やWebサイトもありますが、実際の作業で思った通りに補正などを行うには、やはり個々の機能をいかに理解しているかが重要になります。これまでのバージョンアップによって積み重ねられた機能は数多く複雑ですが、まずは本書で基本的な機能を知ること、これからPhotoshopの勉強を始めるための一助となれば幸いです。

商用印刷などの目的で制作する場合は、決められたルールを守ってデータを完成させる必要がありますが、どのような方法で制作を行うかは基本的に自由です。まずはPhotoshopを知るきっかけとして、本書を通してさまざまな機能を使って練習してみてください。

ある程度慣れて機能を理解できてきたら、本書の説明や作例にとらわれずに、いろいろな画像を自分の好みに補正・加工するなど、試行錯誤してみましょう。そうしていると、自分にとって使いやすい、状況に合わせて効率的に作業できる機能やツール、反対に苦手な作業や機能などが見えてくると思います。ここまでくれば、あなたも立派なPhotoshoperの仲間入りです。

Photoshopでの作業に、正解はありません。失敗を恐れずに自由な発想で、自分の理想の画像を制作できるように、さまざまなことにチャレンジしてみてください。

◆ 免責

本書に記載された内容は、情報の提供のみを目的としています。したがって、本書を用いた運用は、必ずお客様自身の責任と判断によって行ってください。これらの情報の運用の結果について、技術評論社および著者はいかなる責任も負いません。

本書記載の情報は2023年12月現在のもを掲載していますので、ご利用時には変更されている場合があります。

また、ソフトウェアに関する記述は、特に断りのないかぎり、2023年12月現在での最新バージョンをもとにしています。ソフトウェアはバージョンアップされる場合があり、本書の説明とは機能内容や画面図などが異なってしまうこともあり得ます。本書ご購入の前に、必ずバージョン番号をご確認ください。

Adobe Photoshop CC 2024の「体験版」は、試用期間が過ぎると利用できなくなります。体験版についてのサポートは一切行われません。

また開発者側での動作保証もされていないので、サポートおよび動作保証が必要な場合は必ず製品版をお買い求めください。

以上の注意事項をご承諾いただいた上で、本書をご利用願います。これらの注意事項をお読みいただかずにお問い合わせいただいても、技術評論社および著者は対処しかねます。あらかじめ、ご承知おきください。

◆ 商標・登録商標

Adobe Photoshopは、Adobe Inc.(アドビ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。その他、本文中に記載されている会社名、団体名、製品名などは、それぞれの会社・団体の商標、登録商標、商品名です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

● 本書の素材例

より鮮やかに
印象的に



イメージを
ガラリと変化



細かな補正で
理想の
仕上がりに



素材を
組み合わせ
自然に合成



文字や図形を
自在に
組み合わせる



Contents

本書の特徴	4
本書の素材例	6
練習ファイルのダウンロード	12

Chapter

1

Photoshopの 基本操作を知ろう

Visual Index	16
Lesson 01 Photoshopを起動・終了しよう	18
Lesson 02 ファイルを開こう	20
Lesson 03 Photoshopのツールを選ぼう	22
Lesson 04 パネルを操作しよう	24
Lesson 05 画面を拡大・縮小しよう	26
Lesson 06 操作を取り消そう	28
Lesson 07 ファイルを保存しよう	30
Lesson 08 フォントを追加しよう	32
COLUMN ファイル形式と解像度について	34

Chapter

2

写真を補正しよう

Visual Index	36
Lesson 01 写真の明るさを補正しよう	38
Lesson 02 写真の色味を補正しよう	40
Lesson 03 写真の彩度を補正しよう	42
Lesson 04 写真をモノクロに補正しよう	44
COLUMN いろいろな色調補正	46

Chapter

3

写真を加工しよう

Visual Index	48
Lesson 01 写真の一部を切り抜こう	50
COLUMN ハンドルの操作	53
Lesson 02 写真内の余分な要素を削除しよう	54
Lesson 03 写真に写っているものをコピーしよう	56
COLUMN さまざまなレタッチツール	59
Lesson 04 写真の特定の色をガラリと変えよう	60
Lesson 05 写真の空を置き換えよう	62
COLUMN フィルターについて	64



4

写真の一部を選択して補正しよう

65

Visual Index

66

Lesson 01 暗い部分を明るく補正しよう 68

Lesson 02 色域を指定して補正しよう 70

Lesson 03 人物の肌をなめらかに補正しよう 74

COLUMN レイヤーについて 79

Lesson 04 特定のレイヤーを選んで補正しよう 80

COLUMN レイヤーマスクについて 84

5

写真を合成しよう

85

Visual Index

86

Lesson 01 合成用の素材を切り抜こう 88

COLUMN 選択範囲あれこれ 93

Lesson 02 切り抜いた画像を配置しよう 94

COLUMN レイヤーの種類について 97

Lesson 03 マイクをなじませよう 98

Lesson 04 人物と背景をなじませよう 106

COLUMN スマートオブジェクトについて 112

6

ポストカードを作ろう

113

Visual Index

114

Lesson 01 素材の準備をしよう 116

Lesson 02 ポストカードのベースを作ろう 118

Lesson 03 黒板の画像を配置しよう 120

COLUMN レイヤースタイルについて 123

Lesson 04 お店のロゴを作ろう 124

Lesson 05 チョークで書いたような文字を作ろう 128

Lesson 06 ポストカードに本文を入力しよう 134

COLUMN 文字設定について 141

Lesson 07 かんたんな地図を作成しよう 142

COLUMN シェイプについて 153

Lesson 08 作ったポストカードを印刷しよう 154

COLUMN 色について 156

索引 157

写真を補正しよう

この章のポイント

POINT

1 写真の明るさを補正しよう

➔ P.38

暗い写真を明るく補正します。



POINT

2 写真の色味を補正しよう

➔ P.40

照明で色かぶりした写真の色を補正します。



POINT

3 写真の彩度を補正しよう

➔ P.42

写真の色を鮮やかに補正します。



POINT

4 写真をモノクロに補正しよう

➔ P.44

写真を印象的なモノクロ写真に補正します。



Lesson 01

写真の明るさを補正しよう

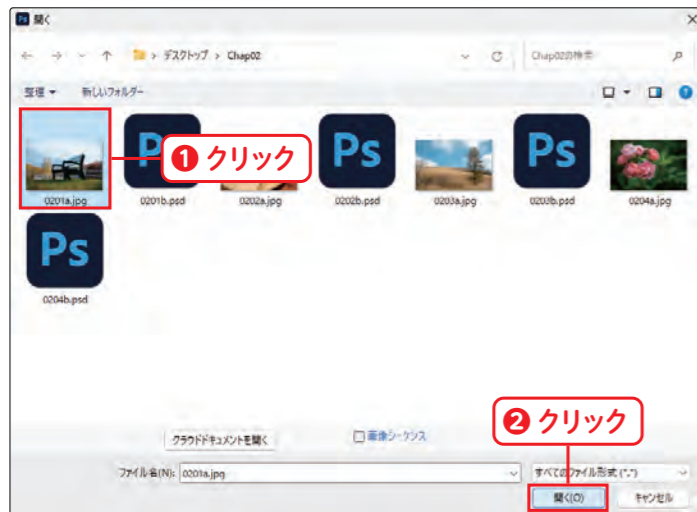
明暗差の大きな景色などは、思ったような明るさで撮影できないことがあります。ここでは、逆光で暗くなってしまった写真を明るくする方法について学びます。

練習ファイル 0201a.jpg 完成ファイル 0201b.psd



1 Photoshopで画像を開く

P.18の方法で、Photoshopを起動します。[ファイル]メニュー→[開く]の順にクリックします①。



2 補正する画像を選択する

[開く]ダイアログボックスが表示されます。デスクトップの[Chap02]フォルダーから[0201a.jpg]ファイルをクリックし①、[開く]をクリックします②。

MEMO

P.12の方法で、あらかじめ[Chap02]フォルダーをデスクトップ上にコピーしておきましょう。



3 明るさ・コントラストを選択する

選択した画像が開きました。[色調補正]タブをクリックします①。[色調補正]パネルが開いたら、[明るさ・コントラスト]ををクリックします②。

MEMO

[色調補正]タブが表示されていない場合は、[ウィンドウ]メニュー→[色調補正]の順にクリックします。



4 画像を明るく補正する

[プロパティ]パネルが表示されます。[明るさ]の sliderをドラッグして①、以下のように設定します。

明るさ 70



5 補正した画像を確認する

画像が明るく補正されました。P.30の方法で、デスクトップの[Chap02]フォルダーに別名保存します。[名前]は[0201c.psd]とします。保存できたら、ファイルを閉じましょう。

MEMO

ファイルを閉じる方法は、P.21を参照してください。

Lesson 02

写真の色味を補正しよう

室内の照明など色のついた明かりの下で撮影すると、思った通りの色で撮影できない場合があります。ここでは、写真を自然な色味に補正する方法について学びます。

練習ファイル 0202a.jpg 完成ファイル 0202b.psd



1 レンズフィルターを選択する

P.20の方法で、[Chap02]フォルダーの[0202a.jpg]ファイルを開きます。[色調補正]タブをクリックします①。[色調補正]パネルが開いたら、[レンズフィルター]ををクリックします②。

MEMO

P.12の方法で、あらかじめ[Chap02]フォルダーをデスクトップ上にコピーしておきましょう。

2 色を補正する

[プロパティ]パネルが表示されます。[レンズフィルター]を、以下のように設定します①。

フィルター	Cooling Filter (82)
適用量	35%



3 補正した画像を確認する

ここでは、色温度の低い暖色系の画像に寒色系の色をかぶせて色味を調整しました。P.30の方法で、デスクトップの[Chap02]フォルダーに別名保存します。[名前]は[0202c.psd]とします。保存できたら、ファイルを閉じましょう。

MEMO

ファイルを閉じる方法は、P.21を参照してください。

CHECK

レンズフィルターの仕組み

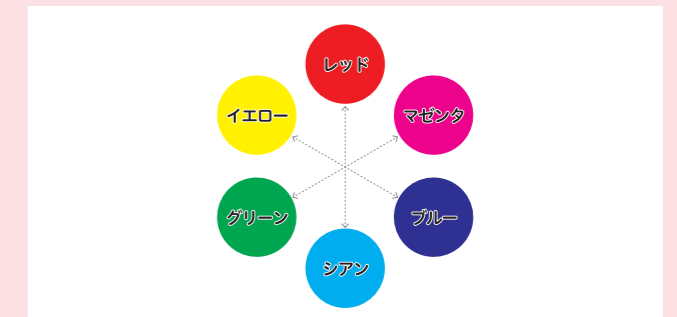
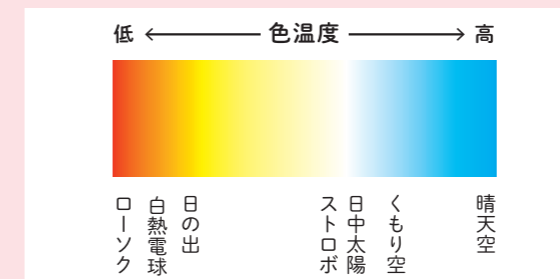
[レンズフィルター]機能は、フィルムカメラで撮影する際に、色味を調節する目的で使われていた色補正用のフィルターを再現したものです。デジタルカメラになってからはホワイトバランスの設定で色温度を調整できるため、実際の色補正フィルターはあまり使われなくなりましたが、Photoshopで色温度の調整をする際には、操作がシンプルで便利な機能です。

● 色温度の調整

色温度を調整するには、[Warming Filter (フィルター暖色系)/Cooling Filter (フィルター寒色系)]と表示されているフィルターを使用します。色温度の高い(青っぽい)画像には[Warming Filter (フィルター暖色系)]を適用し、色温度が低い(オレンジっぽい)画像には[Cooling Filter (フィルター寒色系)]を適用します。

● フィルターの選び方

色かぶりなどを補正したい場合は、強くかかっている色に対する補色を選択します。補色とは、色相環(下図参照)で対面にある色のことを指します。レンズフィルターは色かぶりを補正する以外にも、特定の色を強めて違った印象に補正するといった用途にも使用できます。適用した色の強さは、[適用量]のスライダーで調整することができます。



Lesson 02 色域を指定して 補正しよう

Photoshopでは、画像の中の色を使って選択範囲を作成することができます。ここでは、空と植物を色域指定で選択し、それぞれを補正する方法について学びます。

練習ファイル 0402a.jpg 完成ファイル 0402b.psd



1 画像を開く

P.20の方法で、[Chap04] フォルダの [0402a.jpg] ファイルを開きます。[選択範囲] メニュー→[色域指定] の順にクリックします①。

2 選択したい色を指定する

[色域指定] ダイアログボックスが表示されます。左の画面のように、補正したい空の色の部分をクリックします①。



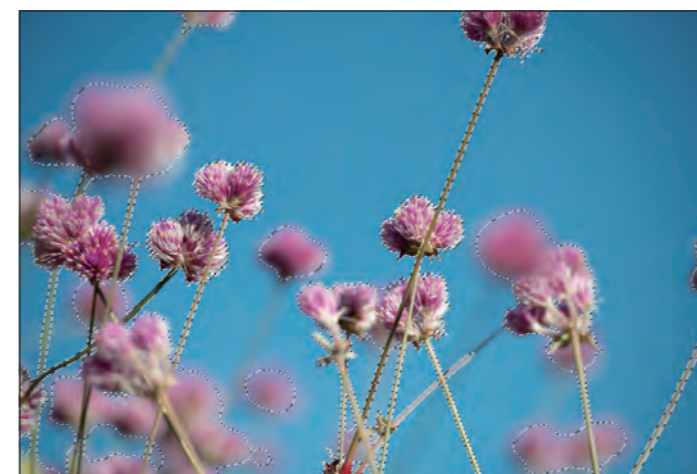
3 色域の許容量を設定する

[色域指定] ダイアログボックスのプレビュー画面で、白く表示されている部分が選択されている色です。以下のように設定し①、左の画面のようにプレビューが表示されたら [OK] をクリックします②。

許容量 140

MEMO

[許容量] では、クリックした色の近似色をどこまで選択範囲に含めるかを設定することができます。



4 選択範囲が作成された

指定した色から、選択範囲が作成されました。



5 色相・彩度を選択する

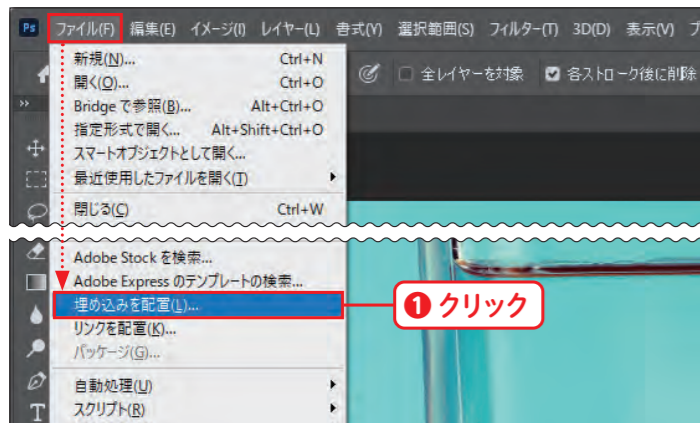
[色調補正] タブをクリックし①、[色調補正] パネルを開きます。[色相・彩度] をクリックします②。

Lesson 04

特定のレイヤーを選んで
補正しよう

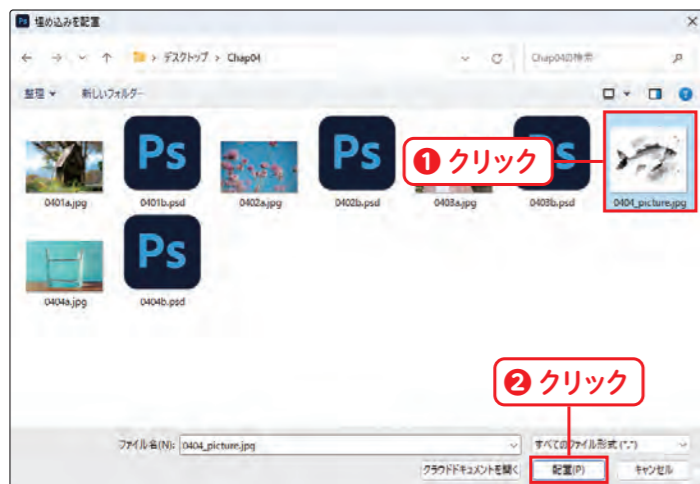
複数のレイヤーがある状態で、特定のレイヤーのみ補正したい場合は、クリッピングマスクを使用します。ここでは、かんたんな画像合成を行い、1つのレイヤーのみ色を変更する方法について学びます。

練習ファイル 0404a.jpg 完成ファイル 0404b.psd



1 合成する画像を読み込む

P.20の方法で、[Chap04] フォルダの [0404a.jpg] ファイルを開きます。[ファイル] メニュー→[埋め込みを配置] の順にクリックします①。



2 画像を選択する

[埋め込みを配置] ダイアログボックスが表示されたら、[Chap04] フォルダの [0404_picture.jpg] ファイルをクリックし①、[配置] をクリックします②。



3 配置する場所を設定する

元の画像の上に、読み込んだ画像が表示されました。[オプション] バーで以下のように設定し①、[確定] をクリックします②。

X	2065px
Y	1630px
W	100%
H	100%

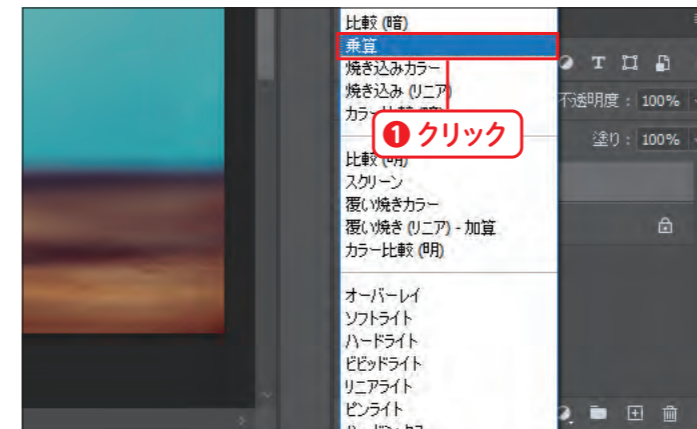


4 描画モードを変更する

読み込んだ画像が、指定した位置に配置されました。[レイヤー] パネルで [0404_picture] レイヤーが選択されていることを確認し①、[描画モード] をクリックします②。

MEMO

[描画モード] では、選択したレイヤーを下のレイヤーに対してどのように描画するかを設定できます。[通常] では、画像がそのまま重なった状態で描画されます。



5 乗算を選択する

[描画モード] のプルダウンメニューで、[乗算] をクリックします①。

MEMO

[乗算] に設定すると、下のレイヤーの色と設定したレイヤーの色を掛け合わせた色で描画されます。



6 乗算で合成された

配置した画像の描画モードが[乗算]に変更され、元の画像と色が掛け合わされて合成されました。

MEMO

[描画モード]は、基本的な合成の方法としてさまざまな場面で使うことができます。[乗算]以外にもいろいろな種類があるので、試してみましょう。



9 クリッピングマスクが適用された

[色相・彩度1]レイヤーにクリッピングマスクが適用され、[0404_picture]レイヤーにのみ色調補正が適用されました。P.30の方法で、デスクトップの[Chap04]フォルダーに別名保存します。[名前]は[0404c.psd]とします。保存できたら、ファイルを閉じましょう。

MEMO

ファイルを閉じる方法は、P.21を参照してください。



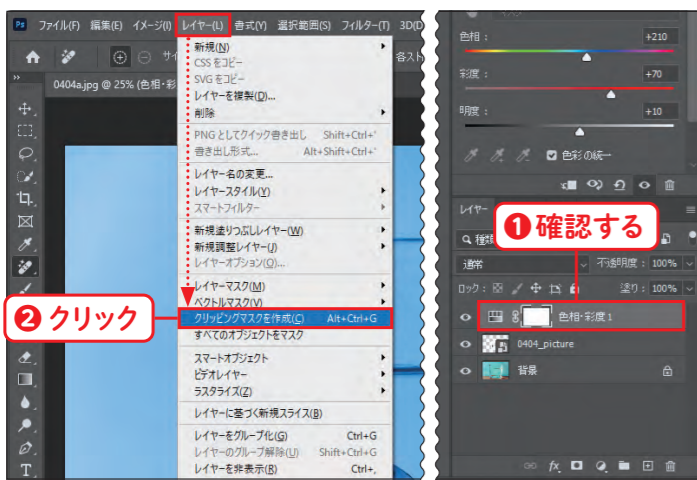
7 配置画像の色を変更する

[色調補正]タブをクリックし①、[色調補正]パネルを開きます。[色相・彩度]をクリックし②、[プロパティ]パネルで以下のように設定します③。

色相	+210
彩度	+70
明度	+10
色彩の統一	チェックを入れる

8 色相・彩度にクリッピングマスクを適用する

このままだとすべてのレイヤーに色調補正が適用されてしまうので、[0404_picture]レイヤーにのみ適用されるようにします。[色相・彩度1]レイヤーが選択されていることを確認し①、[レイヤー]メニュー→[クリッピングマスクを作成]をクリックします②。



CHECK

クリッピングマスクについて

クリッピングマスクが適用されたレイヤーには、直下にあるレイヤーの透明情報が反映されます。下の図は、テキストレイヤーの上にある画像レイヤーに、クリッピングマスクを適用した例です。クリッピングマスクを適用した画像が下のテキストの形状で表示されており、テキストを変更するとリアルタイムでマスクが反映されます。1つのレイヤーに対して複数のクリッピングマスクを適用したレイヤーを重ねることもできますが、[レイヤー]パネルでクリッピングマスクの関連レイヤー外に移動すると、移動したレイヤーは強制的にクリッピングマスクが解除されます。クリッピングマスクを任意で解除するには、[レイヤー]メニュー→[クリッピングマスクを解除]の順にクリックします。



写真を合成しよう

完成イメージ



POINT

1

POINT

2

POINT

3

POINT

4

この章のポイント

POINT

1 合成用の素材を切り抜こう

➔ P.88

クイック選択ツールを使って、人物の画像を切り抜きます。



POINT

2 切り抜いた画像を配置しよう

➔ P.94

切り抜いた画像を背景用画像に配置します。



POINT

3 マイクをなじませよう

➔ P.98

人物がマイクを持っているように、画像どうしをなじませます。



POINT

4 人物と背景をなじませよう

➔ P.106

配置した人物の画像に影を作成し、背景になじませます。

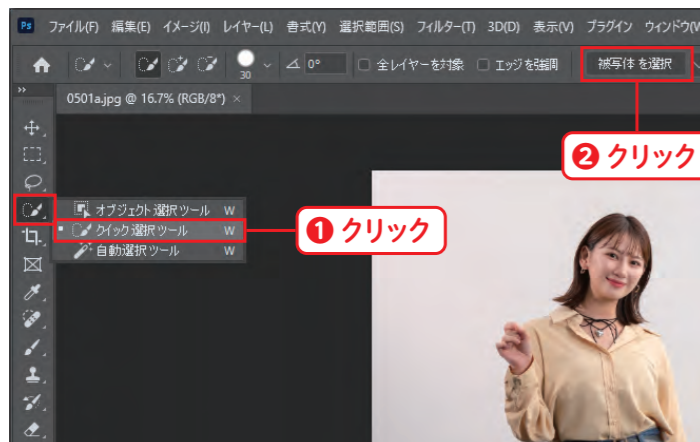


Lesson 01



合成用の素材を切り抜こう

画像を合成する準備として、合成に必要な素材の人物写真を切り抜きましょう。ここでは、クイック選択ツールを使って人物の写真を切り抜く方法について学びます。

練習ファイル 0501a.jpg 完成ファイル 0501b.psd



1 自動で選択する

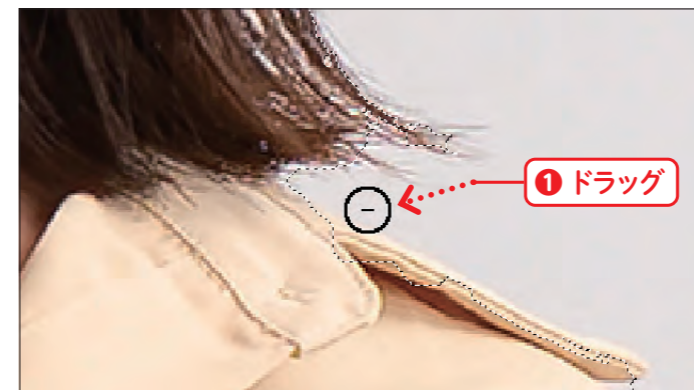
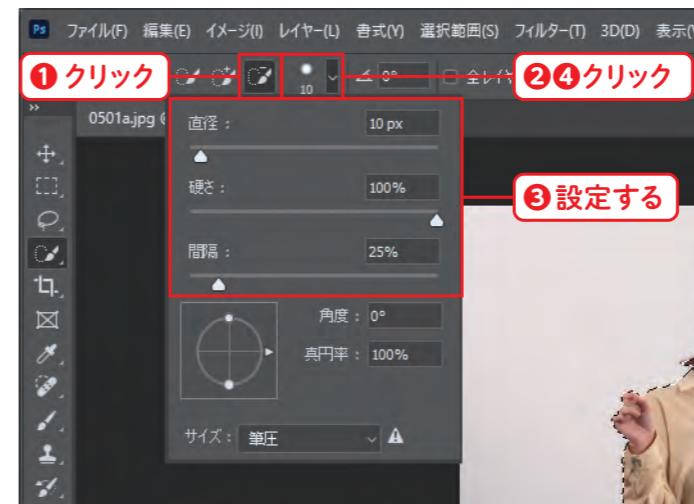
P.20の方法で、[Chap05]フォルダーの[0501a.jpg]ファイルを開きます。[オブジェクト選択]ツールを長押しし、[クイック選択]ツールをクリックします①。[オプション]バーの[被写体を選択]をクリックします②。

2 人物が選択された




メインの被写体として、人物の部分が自動的に選択されました。

MEMO

[被写体を選択]では、画像内からメインの被写体を認識して自動的に選択範囲を作成することができます。



3 クイック選択ツールの設定をする


[オプション]バーで[現在の選択範囲から一部削除]をクリックします①。[ブラシオプションを開く]をクリックし②、以下のように設定します③。設定ができれば、[ブラシオプションを開く]をクリックして閉じます④。

直径	10px
硬さ	100%
間隔	25%

4 余分な選択範囲を削除する

P.26の方法で画面を拡大します。肩の部分を手前の画面のようにドラッグして①、余分な選択範囲を削除します。

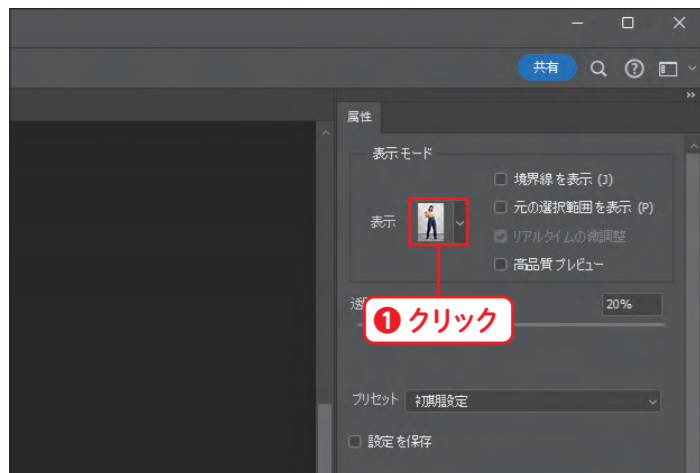
5 選択範囲を追加する

[オプション]バーで[選択範囲に追加]をクリックし①、左の画面のようにドラッグして②、選択範囲を追加します。余裕があれば他の箇所の選択範囲を確認して、同様の手順で修正してみましょう。



6 選択とマスクを開く

手順③～⑤の方法で全体の選択範囲を整えたら、[オプション]バーの[選択とマスク]をクリックします①。



7 選択とマスクが開いた

作成した選択範囲が、[選択とマスク]の画面に表示されます。[属性]パネルの[表示モード]にある[表示モードを選択]をクリックします①。

MEMO

[選択とマスク]の画面では、[ブラシ]ツールなどを使用して選択範囲を視覚的に修正することができます。



8 オーバーレイを選択する




[表示モード]の表示方法のリストが表示されたら、[オーバーレイ]をクリックします①。[表示モードを選択]をクリックして②、リストを閉じます。

MEMO

[表示モード]は、画像や背景の色などによって見やすいモードが異なります。必要に応じて、作業しやすいモードに変更しましょう。



9 境界線調整ブラシツールを選択する

[境界線調整ブラシ]ツールをクリックします①。[ブラシオプションを開く]をクリックし②、以下のように設定します③。設定ができたなら、[ブラシオプションを開く]をクリックして閉じます④。


直径	20px
硬さ	100%
間隔	25%



10 髪の毛の選択範囲を調整する

必要に応じて画面を拡大し、髪の毛の部分を手元の画面のようにドラッグします①。他にも、髪の毛の隙間から背景が見えている箇所をドラッグします。

MEMO

全体を確認して気になる箇所があれば、[ブラシ]ツールを使用してP.100の手順⑧のように選択範囲を修正してみましょう。



11 選択範囲を出力する

[属性]パネルの[出力設定]で以下のように設定し①、[OK]をクリックします②。

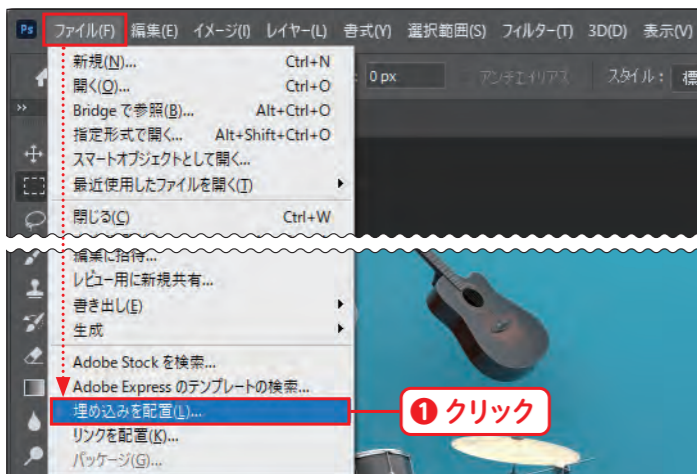
不要なカラーの除去	チェックを入れる
量	60%
出力先	新規レイヤー (レイヤーマスクあり)

Lesson 02

切り抜いた画像を配置しよう

レイヤー機能を使うことで、複数の画像をかんたんに合成し、管理することができます。ここでは、切り抜いた画像を背景に配置して、レイアウトする方法について学びます。

練習ファイル 0502a.jpg 完成ファイル 0502b.psd



1 合成写真の背景になる画像を開く

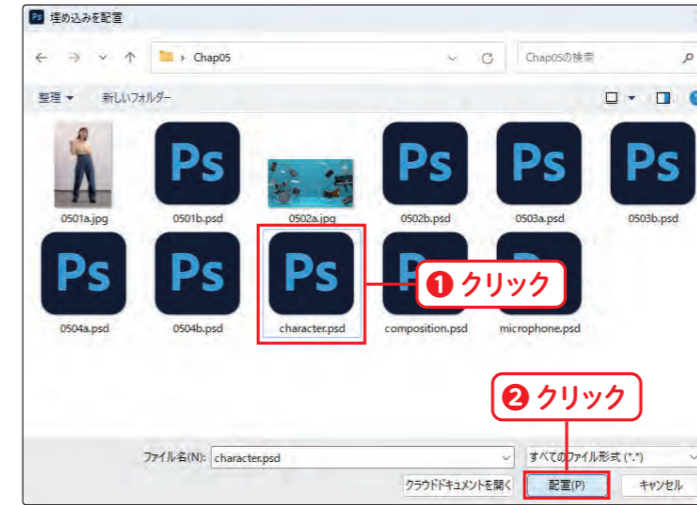
P.20の方法で、[Chap05] フォルダの [0502a.jpg] ファイルを開きます。

2 画像を配置する

[ファイル] メニュー→ [埋め込みを配置] の順にクリックします①。

MEMO

画像を配置する方法は複数ありますが、本書では [埋め込みを配置] を使って画像の配置を行います。



3 人物の画像を選択する

[埋め込みを配置] ダイアログボックスが表示されたら、P.92で保存した [character.psd] ファイルを選択し①、[配置] をクリックします②。

MEMO

P.88で人物の画像を切り抜いていない場合は、完成ファイルの [0501b.psd] ファイルを使用してください。

4 人物の画像を調整する

選択した人物画像が表示されたら、背景画像に合わせて大きさを調整します。[オプション] バーで以下のように設定し①、[確定] をクリックします②。

W	50%
H	50%

5 人物の画像を移動する

[移動] ツール をクリックします①。左の画面を参考に、人物の画像をドラッグして移動します②。

MEMO

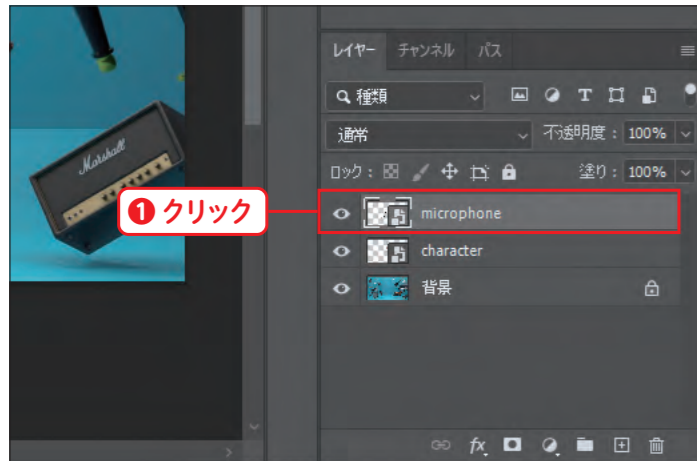
[移動] ツールで選択した画像は、矢印キーを押して位置を微調整することができます。

Lesson 03

マイクをなじませよう

配置した画像どうしをなじませるには、重なり順や影が重要になります。ここでは、調整レイヤーとレイヤーマスクを使って、配置した画像どうしをなじませる方法について学びます。

練習ファイル 0503a.psd 完成ファイル 0503b.psd

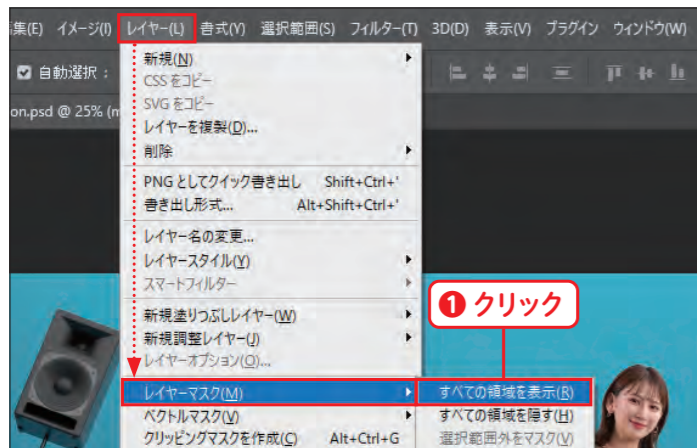


1 マイクのレイヤーを選択する

P.96で保存した [composition.psd] を開いておきます。[レイヤー] パネルで、[microphone] レイヤーをクリックします①。

MEMO

前節までの作業を行っていない場合は、[Chap05] フォルダにある練習ファイルの [0503a.psd] ファイルを開きます。



2 レイヤーマスクを作成する

[レイヤー] メニュー→[レイヤーマスク]→[すべての領域を表示]の順にクリックします①。

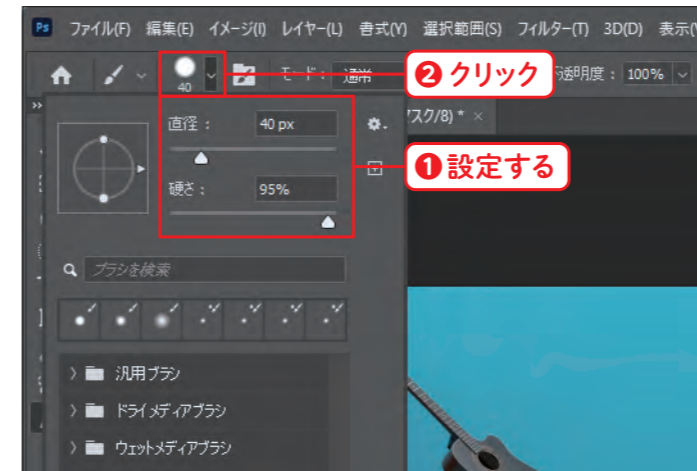
MEMO

[すべての領域を表示]を選んだ場合は、何もマスクされていない状態で[レイヤーマスク]が作成されます。



3 ブラシツールを選択する

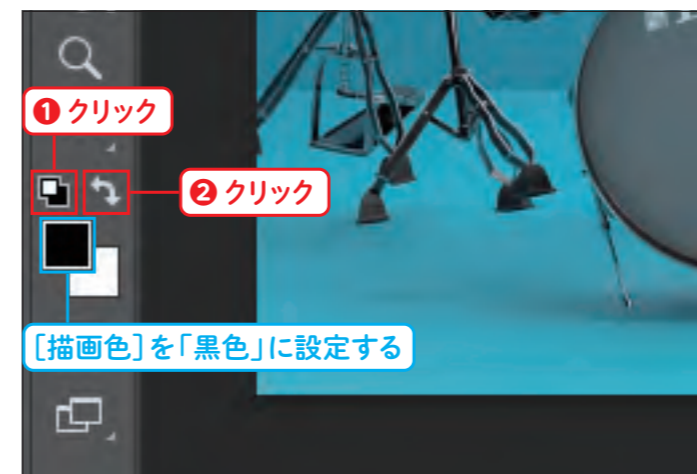
[ツール] パネルの [ブラシ] ツール をクリックします①。[オプション] バーの [ブラシプリセットピッカーを開く] をクリックします②。



4 ブラシを設定する

[ブラシプリセットピッカー] が開いたら、以下のように設定します①。設定ができれば、[ブラシプリセットピッカーを開く] をクリックして閉じます②。

直径	40px
硬さ	95%



5 描画色を設定する

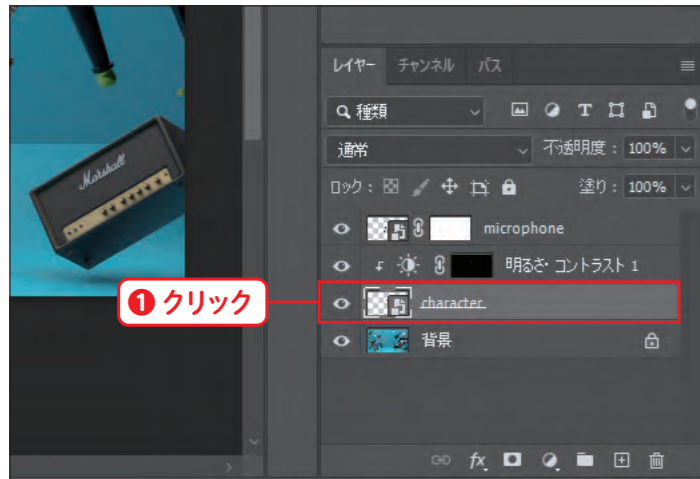
[ツール] パネル下部の [描画色と背景色を初期設定に戻す] をクリックします①。[描画色と背景色を入れ替え] をクリックし②、[描画色] を「黒色」に設定します。

Lesson 04

人物と背景をなじませよう

マイクと人物がなじんだので、今度は人物に影をつけて背景の画像となじませます。ここでは、人物のレイヤーからグラデーションを作成して影をつける方法について学びます。

練習ファイル 0504a.psd 完成ファイル 0504b.psd



1 人物レイヤーを選択する

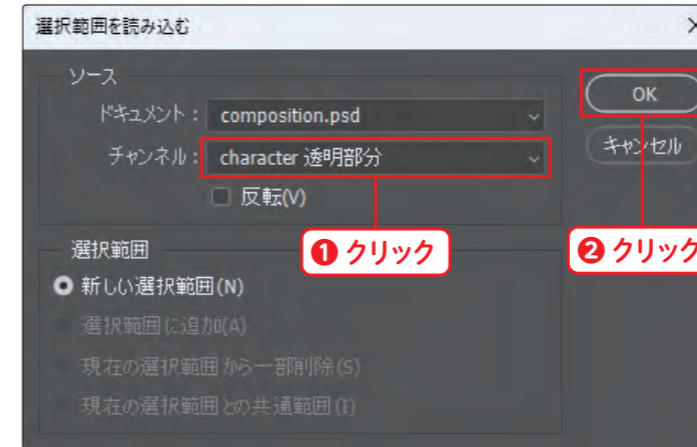
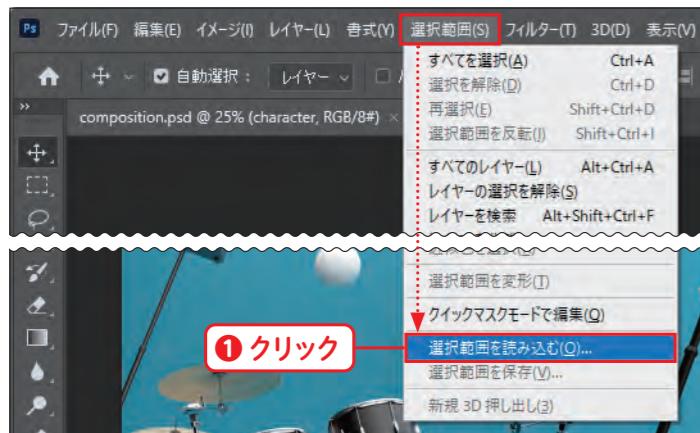
P.105で保存した[composition.psd]を開いておきます。人物のレイヤーから影を作成するために、[レイヤー]パネルで[character]レイヤーをクリックします①。

MEMO

前節までの作業を行っていない場合は、[Chap05]フォルダーにある[0504a.psd]ファイルを開きます。

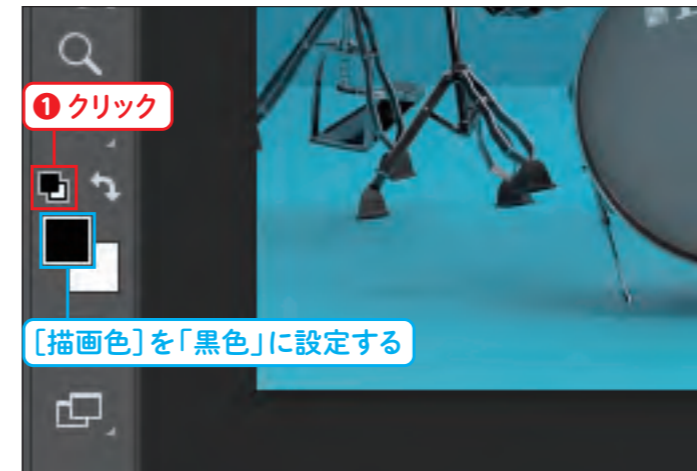
2 人物レイヤーから選択範囲を作成する

[選択範囲]メニュー→[選択範囲を読み込む]の順にクリックします①。



3 選択範囲を読み込む

[選択範囲を読み込む]ダイアログボックスが表示されたら、[チャンネル]で[character 透明部分]をクリックし①、[OK]をクリックします②。

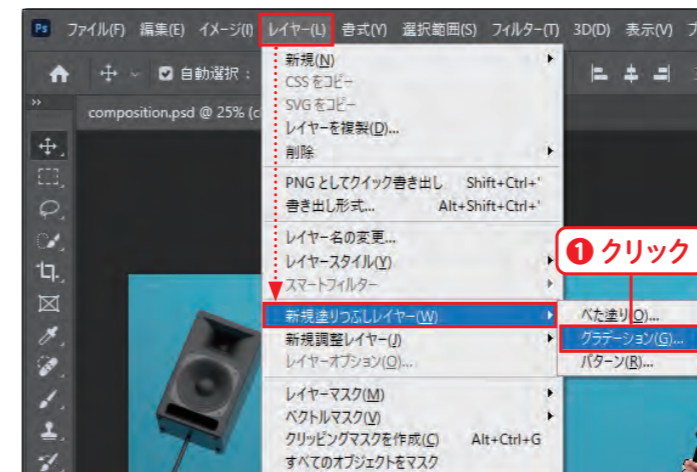


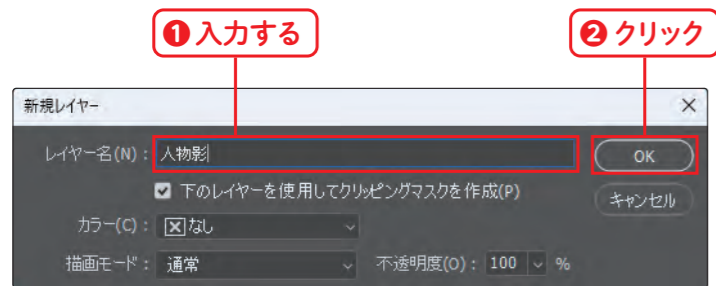
4 描画色を黒色にする

[ツール]パネル下部の[描画色と背景色を初期設定に戻す]をクリックし①、[描画色]を「黒色」に設定します。

5 塗りつぶしレイヤーを作成する

[レイヤー]メニュー→[新規塗りつぶしレイヤー]→[グラデーション]の順にクリックします①。





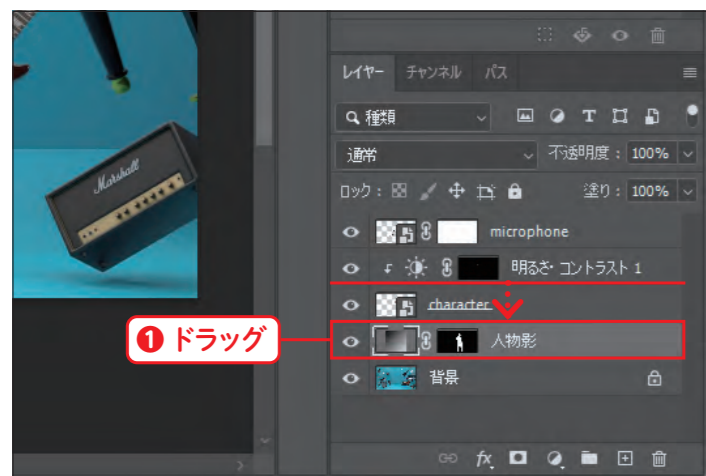
6 新規レイヤーの設定をする

[新規レイヤー] ダイアログボックスが表示されたら、[レイヤー名]に[人物影]などのわかりやすい名前を入力し①、[OK]をクリックします②。



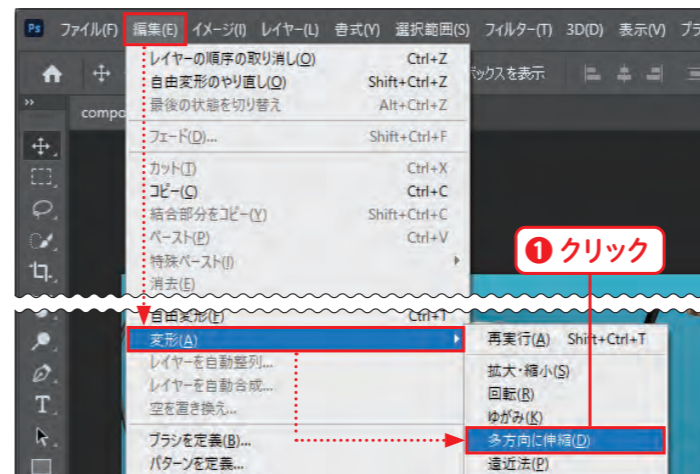
7 グラデーションで塗りつぶしの設定をする

[グラデーションで塗りつぶし] ダイアログボックスが表示されたら、[グラデーションプリセットを選択]をクリックします①。[基本]の▶をクリックして展開し②、[描画色から透明に]をクリックします③。設定ができれば、[OK]をクリックします④。



8 レイヤーの順番を入れ替える

人物の形でマスクされた[グラデーション塗りつぶし]レイヤーが作成できたら、[レイヤー]パネルで[人物影]レイヤーを[背景]レイヤーの上にドラッグして移動します①。



9 レイヤーマスクを選択する

[編集]メニュー→[変形]→[多方向に伸縮]の順にクリックします①。



10 マスクを変形する その1

レイヤーマスクの[バウンディングボックス]が表示されて変形できる状態になったら、上部中央のハンドルをドラッグして①、左の画面のように変形します。



11 マスクを変形する その2

下部中央のハンドルをドラッグし①、左の画面のように足と影の位置を合わせます。変形できたら、[オプション]バーの[確定]ⓐをクリックします。

MEMO
ドラッグする際に、[Alt]キー(macOSの場合は[command]キー)を押すことで、変形時に微調整することができます。